

☆READ 2021☆第4弾



先生方によるおススメ本紹介企画・2021年9月 (原稿回収)2B 和泉・田脇/2F 藤田・宮内 (原稿入力)2F 藤田 (展示 POP 作成)2F 宮内

「だまってすわれば」

高校2 学年主任・国語 大川健次

神坂次郎/著・(株)新潮社/発行

江戸時代、この人に人相を見てもらえば、その占いは百発百中の的中率を誇ったという観相師、水野南北。この本は水野南北の一生の物語ですが、面白かったのは、人の運命というのは「食」のとり方によって良くも悪くもなるという南北の考え方でした。



「生命潮流～来たるべきものの予感」

高校2 学年アドバイザー兼理科アドバイザー・理科 水谷和夫

ライアル・ワトソン/著・(株)工作舎/発行

ライアル・ワトソンは生物学者だが大変怪しい人物である。普通は科学の世界でタブー視されるオカルト的な現象も含む化学の確立を目指した。本書には科学的に証明されていない誤った内容もかなり見受けられる。内容を鵜呑みにさえしなければ、この本は楽しく読めると思う。あくまで娯楽物として読めば、新しい視野が得られると思う。

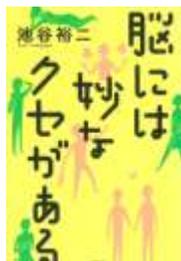


「脳には妙なクセがある」

高校2 年学年主任補佐・保健体育 中田晴之

池谷裕二/著・(株)扶桑社/発行

私たち毎日当たり前のように考えたり、体を動かしたりして生活しています。これらの思考や行動はすべて身体(五感)から入る情報を脳がまとめてから指令を出しているのです。でも脳はすべてに正しく働いている訳ではなく、非常に利己的で偏った癖を持っています。この癖を理解するといろいろなことが解る様になりますよ。



「13歳からのSDGs」

高校2 年 AB 組副担任・保健体育 菅野さおり

たかまつなな/著・(株)くもん出版/発行

「SDGsって何?」「聞いた事はあるけど結局何をしたらいいの?」そんな人でも大丈夫。お笑い芸人たかまつななさんが写真やイラストとともにわかりやすく解説。中学生にもオススメ。未来のためにできることは・・・。



「図解でわかる14歳から考える資本主義」

総務部長兼社会アドバイザー・地歴 深田富佐夫

インフォビジュアル研究所/著・(株)太田出版/発行

今の私たちの生活スタイルは、産業革命で始まった工業化の延長線上にあります。今の私たちのような経済的に豊かな暮らしを、すべての人類が享受すれば、地球環境がもたないことは明らかです。この本を読んで、これからどうしていくべきか、考えてみませんか。



「旅行者の朝食」

高校2 年 CD 組副担任・英語 三津田友香理

米原万里/著・(株)文藝春秋/発行

ロシア語同時通訳者として深い教養を持つ著者が、ユーモアたっぷりに世界各地のおいしい(あるいは変わった)「食」について書いたエッセイ。「生きるために食べる」「食べるために生きる」あなたはどちらですか? 旅に出たくなる一冊。



「アウトプット大全」

入試広報部長兼技術家庭科主任・技術家庭 宮永厚

樺沢紫苑/著・(株)サンクチュアリ出版/発行

情報が溢れている今、どう学ぶか。効率よく得るには何が必要かを知ることが大切。脳内で整理して書く、説明、質問等して不足に気づきインプットする。これを繰り返せば最短で上達することができます。結果を出す、合格する、模試や練習試合の意味、と同じです。



「コンビニ人間」

高校2 学年副担任・数学 道下靖次

村田沙耶香/著・(株)文藝春秋/発行

あなたにとって「普通」とは何でしょうか? 大学に進学して就職して、結婚をして・・・これがあなたの思う「普通」ですか? 何が「普通」で、何が「普通の幸せ」なのかを考えさせられる本です。難しい表現が少ないのでとても読みやすいと思います。



「捜査官ケイト」

図書部長・技術家庭 吉田純子

ローリー・R・キング/著・(株)集英社/発行

男社会の中で、辛抱強く、甘えず、キレずに頑張る女刑事・ケイト。一見クソおやじ風の同僚が、実はとても公平な価値観を持つ一番の味方。LGBT, 特殊なコミュニティ、様々な価値観に触れることができ、ワクワクする傑作です。映像化は難しいとどんでん返しをぜひ本作で味わってください。



※作中に出てくるコーヒーがとっても美味しそうです!

「四畳半神話体系」

高校3 学年副担任・英語 荒川聡子

森見登美彦/著・(株)KADOKAWA/発行

こんなはずではなかった! もしもあの時、別の選択をしていたら・・・キャンパスライフはバラ色だったに違いない。京都大学三回生男子を主人公にした青春ストーリー。読了後には、自分のことを今よりちよっぴり好きになれる、不思議なおはなしです。

